



特別展

「大正の夢 秘密の銘仙ものがたり」

2024年4月12日(土) ~ 2025年6月15日(日)

企画概要

大正から昭和初期に女学生を中心に大流行した「銘仙」(めいせん)。平織りの絹織物で「緋(かすり)」と呼ばれる経糸と緯糸をズラして織る技法により生み出された、色の境界が滲んだような表情が特徴です。色とりどりでかわいらしいデザインも多く、現在ではアンティーク着物としても高い人気を博しています。「ファッションは時代を映す鏡」といわれるように、銘仙の紋様や着こなしから、社会情勢や女性のライフスタイルの変化など、当時の世相を垣間見ることができます。

本展では、桐生正子氏(銘仙コレクター・研究家)のコレクション約600点の中から選りすぐりの着物約60点や関連資料などを展示し、レトロモダンな銘仙の魅力をご紹介します。



① 格子に蝶々尽くし文様(単衣)

展示構成

第1章

Neo Classic…日本の伝統紋様を新解釈した古典プラス柄

明治時代、日本の伝統柄が西洋文化の影響を受けて、大胆に、カラフルに変化しました。その流れを受けた新しい伝統文様のグループ。新しさもあるけど、目になじんだ文様は多くの女性に好まれました。

第2章

Girlish…ロマンチックな西洋風の花や蝶や小鳥たち

西洋文化の洗礼を受けた女学生たちに好まれたロマンチックな柄。西洋の花々、蝶、小鳥、リボン、チェック…。昭和初期には少女雑誌も大ブーム。女学生独自のサブカルチャーも生まれ、高島華宵など人気画家の影響も受けたようです。

第3章

Geometric…新しいアートの潮流を汲んだ幾何学模様

昭和初期、職業婦人として働く女性たちに向けて百貨店は新しいイメージの銘仙をつくるプロジェクトを立ち上げます。そのデザインを担っていたのが当時の前衛アーティストたち。世界的に流行していたロシア・アヴァンギャルドの影響を受けたデザインの着物も数多くつくられました。

第4章

Kitsch…時代やブームを読み込んだ楽しい意匠

世相や時代を織り込んでいた銘仙。南方への憧れを椰子の木柄に織り込んだり、太平洋航路の就航を祝ったと思われる柄も。楽しい柄だけでなく、戦争が激化する中でつくられた銘仙柄もあります。

出品内容

銘仙約60点(うちコーディネート展示約20体)、
図案の原画、生地見本、当時のポスターなど

主な展示作品



⑧ロシア・アバンギャルド風文様（部分）



②市松格子に孔雀羽文様（単衣）+女袴



③格子にプリムラ文様（単衣）



④白地に赤黒幾何学文様

主な展示作品



⑤ 流水に睡蓮文様 (単衣)



⑥ フルーツ尽くし文様 (単衣)



⑦ エリザベス女王戴冠式文様 (四つ身)

● 開催記念トークショー 「銘仙に魅せられて」

登壇者：桐生正子氏（銘仙コレクター、研究家）
通崎睦美氏（木琴奏者、アンティーク着物コレクター）
日 時：2025年4月12日(土曜)
時 間：14時00分～16時00分
場 所：当館4階 第1セミナー室
定 員：70人（事前申込制・抽選）
参加費：無料（要当日観覧券）
※参加お申込み要項については当館HPに掲載。

同時開催 ドレスコレクション展
「ザ・フェスティバル
—世界のお祭りと舞台衣装—」

世界各地の風土や宗教が育んだ様々な儀礼。
華やかな特別な日の衣装や文化を
収蔵品から紹介します。



画像：タイ アカ族の伝統衣装

● ワークショップ 銘仙でブローチを作ろう

素敵な銘仙布地を使ってブローチを制作します
日 時：2025年4月26日(土曜)10:30～12:30
5月24日(土曜)14:00～16:00
会 場：1階 展示室改札付近
定 員：先着30名（事前申込不要）
参加費：300円/1点につき（要当日入館券）
所要時間：約20分

● 学芸員によるギャラリートーク

日時：4月30日(水)、5月15日(水)、6月5日(木)
14:00～ 30分程度
会場：当館1階 展示室
定員：20名 ※当日12:00より整理券配布
参加費無料・要当日入館券

特別展
「大正の夢 秘密の銘仙ものがたり」

2025年4月12日(土)～6月15日(日)

開館時間 10:00～18:00（入館は17:30まで）

休館日 月曜日、5月5日(水)
※ただし5月3日(月曜)は開館

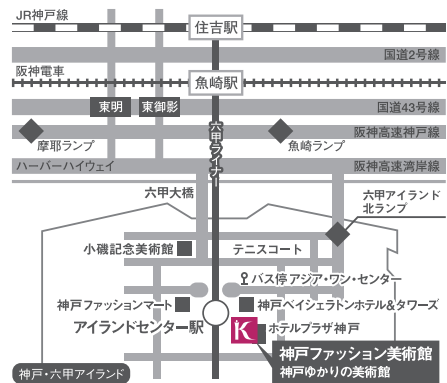
観覧料 一般 1,000(800)円
65歳以上・大学生 500(400)円
高校生以下無料

※ 神戸市内在住の65歳以上の方は無料です。
※ カッコ内は有料入館者30名以上の割引料金です。
※ 本展会期中のみ和装でご来館いただくと団体料金になります。
※ 神戸ゆかりの美術館、小磯記念美術館の当日入館券(半券)をお持ちの方は割引が受けられます。

主 催：神戸ファッション美術館、神戸新聞社、毎日新聞社
後 援：サンテレビジョン、ラジオ関西
企画協力：Ponia-pon、Nasu Meisen Lab.
装飾協力：大阪樟蔭女子大学

お問い合わせ（広報担当）

TEL：078-858-0050
FAX：078-858-0058
Email: press@fashionmuseum.jp



アクセス

▶ 電車ご利用の場合

JR「住吉駅」・阪神「魚崎駅」で六甲ライナーに乗換、
「アイランドセンター駅」下車、南東徒歩3分

▶ お車ご利用の場合

阪神高速神戸線「摩耶」・「魚崎」ランプから約10分
阪神高速湾岸線「六甲アイランド北」ランプから約2分
三宮からハーバーハイウェイ経由約15分



〒658-0032 神戸市東灘区向洋町中 2-9-1
https://www.fashionmuseum.jp

特別展 大正の夢 秘密の銘仙ものがたり

お問い合わせ（広報担当）
FAX：078-858-0058
E-mail：press@fashionmuseum.jp

本展の広報用画像を提供いたします。

申込書に必要事項をご記入のうえ、メールまたはFAXにてお申し込みください。

- ・ご希望の画像に をつけてください。
- ・キャプションを必ずご掲載ください。※キャプションは省略不可。
- ・WEB媒体に掲載の場合、画像を72dpi以内に設定のうえコピーガードを施し、本展終了後は画像の削除してください。
- ・基本情報、会期などの確認のため、グラ刷り・原稿の段階でお送りいただきますようお願いいたします。
- ・ご使用後はデータを廃棄するとともに、掲載誌を当館宛にご送付ください。
- ・読者プレゼント用に招待券をご希望の場合、希望枚数をご記入ください。（10組20名様まで）

番号	画像キャプション
<input type="checkbox"/> 1	格子に蝶々尽くし文様 (単衣)
<input type="checkbox"/> 2	市松に孔雀羽文様 (単衣)+ 女袴
<input type="checkbox"/> 3	格子にプリムラ文様 (単衣)
<input type="checkbox"/> 4	白地に赤黒幾何学文様
<input type="checkbox"/> 5	流水に睡蓮文様 (単衣)
<input type="checkbox"/> 6	フルーツ尽くし文様 (単衣)
<input type="checkbox"/> 7	エリザベス女王戴冠式文様 (四つ身)
<input type="checkbox"/> 8	ロシア・アバンギャルド風文様 (部分)

貴社名			
ご担当者名			
部署/ご所属			
Email	@		
ご連絡先	TEL	FAX	
貴媒体名			
媒体種別	新聞 ・ 雑誌 ・ ミニコミ ・ TV ・ ラジオ ・ その他 ()		
サイトURL			
掲載号	月号 (月 日号) / 月	日発売予定	<input type="checkbox"/> WEBへの転載あり
プレゼント用招待券	組 名分希望 (10組20名様まで)		<input type="checkbox"/> 不要